

2025年12月05日作成
第1.0版

当院で診療を受けられた患者さん・ご家族様へ 臨床研究へのご協力のお願い

当院では、以下の臨床研究を実施しています。この研究では、普段の診療で得られた情報を使用させていただきます。この研究のために、新たに診察や検査などを行うことはありません。以下の情報を研究に用いられたくないお考えの患者さんまたはご家族の方は、遠慮なくお申し出ください。お申し出いただいた患者さんの情報は使用いたしません。また、研究への参加にご協力いただけない場合でも、患者さんに不利益が生じることは一切ありません。

傍卵巣嚢胞による付属器捻転についてのMRI画像所見の検討

1. 対象となる患者さん

2004年1月1日から2024年12月31日に奈良県立医科大学、2015年1月1日から2021年12月31日に東大阪市立医療センターで傍卵巣嚢胞による付属器捻転を手術し、かつ術前にMRIを施行した方を対象とします。

2. 研究責任者

奈良県立医科大学附属病院 総合画像診断センター 芳賀真代
(研究協力機関: 東大阪市立医療センター)

3. 研究の目的と意義

傍卵巣嚢胞によって生じた付属器捻転のMRI画像所見を評価することを目的としています。傍卵巣嚢胞の捻転と卵巣捻転は症状が類似しており、この研究により傍卵巣嚢胞によって生じた付属器捻転の画像診断の正確性があがることが期待されます。

4. 研究の方法

本研究は後ろ向き研究です。2004年1月1日から2024年12月31日に奈良県立医科大学、2015年1月1日から2021年12月31日に東大阪市立医療センターにおいて、放射線報告システムで「卵巣」「付属器」「捻転」をキーワードに検索、かつ、病理診断システムで「傍卵巣嚢腫」をキーワードに検索し、傍卵巣嚢胞による付属器捻転症例を抽出します。

5. 使用する情報

生体試料：ありません

診療情報

- ① 臨床所見（年齢、主訴、臨床診断、血液検査所見、発症からMRI撮像までの日数、MRI撮像から手術までの日数、手術所見）
- ② MRI所見（T2強調像、T1強調像、拡散強調像、造影後）
- ③ CT所見・超音波画像（今回の主訴で来院時に撮像された患者のみ）
- ④ 病理所見（卵管出血・壊死の有無）

6. 情報の管理責任者

奈良県立医科大学 学長

7. 外部機関への情報等の提供

試料・情報の授受なし

8. 研究期間

研究機関長の実施許可日～2026年12月31日

9. 個人情報の取り扱い

対象となる患者さんの個人情報は厳重に管理し、利用する情報等からはお名前や住所等、個人を特定できる情報は削除し、研究番号に置き換えて使用します。また、研究成果を学会や学術誌等で公表する際も個人を特定する情報は公表しません。

10. お問合せ先

奈良県立医科大学附属病院 総合画像診断センター 芳賀真代

住所：奈良県橿原市四条町840番地

電話：0744-22-3051

e-mail：mhaga@naramed-u.ac.jp